



「プロバス」を心寄せ合う木に

常任理事・副会長 岩城 孝子
(横濱プロバス倶楽部)

この度、全日本プロバス協議会副会長に就任いたしました。まずは副会長として協議会の活動を知ることから始め、会長を支えながらより魅力ある協議会となるよう、仲間となる会員を一人でも増やすことができればと思います。

とは言え、プロバスは「楽しく」が合言葉です。それぞれの分野でしゃかいをささえてこられ、人生の機微をわきまえ今なお活き活きとかつやくされている皆様と触れあい、語り合うひと時が何より楽しく、素敵な時間です。

新型コロナ禍の3年が経とうとしていますが、今なお収束の兆しは窺えず、デジタル化が進展する中で人と人との触れあいの有難さがより一層増しているように思います。

そのような状況のもと、私たちのプロバスは心寄せ合い癒される「木」でありたい。みんなが集うことで笑顔が溢れ、その温かさが周りへ広がり、大きな森になってより豊かな社会へ繋がるよう願っています。

私のモットー「今できることを一生懸命に」を心に刻み、皆様とともに協議会活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



第10回全日本プロバス協議会総会と副会長就任のご挨拶

常任理事・副会長 有竹 正巳
(大阪プロバスクラブ)

11月24日東京八王子クラブの素晴らしい企画と地域を上げての団結を体験し感動致しました。古賀会長ご出席の元、各議案を裁決しその後の交流会は驚きでありました。全体にアットホームな雰囲気はいかにプロバスクラブが地元に着目されているかを認識致しました。

その中でも同好会のシニアダンディーズのコーラスは最高でした。会長ご挨拶の内、発足時72名が現在51名とご報告がありましたが我々も課題である会員減少はいずれも大問題であると認識致しました。

私達大阪プロバスクラブも20名前後を推移し危機感一杯であります。2021年10月11日に創立20周年を開催し全員で増強を誓いました。その対策とし過去の会員、若い人、会費等の対策を2ヶ月に1回の理事会で協議しております。